



須磨に間島一雄書店あり。知る人ぞ知る書店です

三平の  
やぶにらみ見聞録

〈その6〉



小関 三平 (神戸女学院大学教授)

カメラ/池田年男

「ハイカラ」信仰への  
異議申し立て

間島一雄書店を訪ねて

京都でガクモンをかじり、大阪でゼニをもうけ「阪神間」のハイカラ・ハウスに住む——これが関西人の理想(?)だという説がある。

でも、第一・第二項はともかく、第三項には、いささか疑問がある。私なら、「阪神間」よりも、「須磨」を選ぶ。失意の光源氏や藤原在平が隠棲したということもあるが、山の緑・明るい陽光・碧い海の三位一体に加えて、日本列島の西と南への旅心を、誘うからである。

ゲーテが『イタリア紀行』を愛し、北欧・ロシアの人たちが陽光に憧れるように、東北人のネクラ遣伝子を背負った私は、歌謡曲の感傷とは逆に、△西・南ネアカ▽への憧憬を断ち切れない。

だが、須磨には、もう一つ、意外なメリットが隠されていることを、最近まで知らなかった。平安の面影をもちや偲ぶ由もないのはともかくとして、玄人筋では名の通った古書店「間島書店」がひっそりと床しく、ささやかな営みを、つづけているのである。

この名門書肆は、「DJ番組」草創の『ラジオ

関西」の北、国鉄線路と山陽電鉄「月見山駅」のはぼ中程にある。南は村雨町・衣掛町、西は行幸町と接する月見山——いずれも、名前からして優雅で、懐古の情を誘う。

じっさい、間島書店がつつましいがどこことなく凛たる風情を漂わせている、月見町商店街は、「西国街道」に沿って伸びているのである。

だが、万事が「ナウ」さ志向に傾く時代とて、新興の「組合マーケット」に押されて、この商店街には、いくぶん「斜陽」をかこつて気配が感じられる。

ただし、古書店・間島書店の入口には、ナウいイベントのポスターが貼られている。市立博物館の「ハイカラ神戸の引札展」(3月1日～4月6日)のそれで、海と美人をあしらった明治時代の広告絵だが、実は、その原画を提供したのは二代目当主・間島保夫さんなのである。

若白髪よしかみの蓬頭ぼんとうの下に赫あから顔の童顔が微笑む、セーター姿の間島さんは、まだ四一才——「実年」

ならぬ八虚年Vの私より十才若い、この道二五年というから、プロとしての年数は、私のポロフェッサー歴より、少し長い。

幼ない頃から古書の山に囲まれて育つと、アニメ育ちのネアサ人間とは逆に、いささか「早老」気味で老けるのかもしれない。そもそも、古書商は、ただの「商い」とはちがう。人類の知恵を凝縮した「書籍」の、質的なレベル(不易)と、気紛れな「市場価値」(流行)の双つながらに、精通してなければならない。

だが、「アンティーク? ワーステキ。ナウい!」などと、潜在意識のうちではあれ「無知の知」を自覚する、アン・ノン族OG反主流派が、ある意味で八月見山のパンダVみたいな「間島サン」を、一度でも観たい、と思っても、それはムズカしい。

なぜなら、かの「三浦サン」や「良枝サン」とちがって、間島サンは、テレビに出たがる軽薄さとは無縁だし、だいいち、全国各地の「古本市」

を飛びまわっているから、店番をしているヒマはない。阪急・梅田は「古書の街」にある支店も、弟の良典サンに、まかせている。

では、なぜ、今日はサッポロ、明日はオキナワへと東奔西走せざるを得ないのか? 「こんなアタシに、だれがした!」と、彼が内心つぶやきたくなるのか?——その責めの一半は、コーベ市民に、また、他の一半は、トーキョー・神田の古書店にもある。

この若さでこの道25年のベテラン間島保夫さん



のあいだでは、一目置かれていた。たとえば、あの名物男たりし足立卷一氏の遺言にだって、こう記されている。

「本は、月見山の間島書店の間島保夫さんに来てもらい、整理してもらい、売ってしまおうこと。」

間島さんは、田辺聖子さん・安水稔和さんの知り合いであるだけのみならず、本誌に筆を取る詩人・季村敏夫さんや、ブルー・メール賞をされた武田信明のよあきさんの友人である。

とくに、武田さんは、詩誌『メランジュ』の仲間らしい。俳誌『琴座』を主宰する永田耕衣さんとも、近所づき合いの仲だとか。

いや、それだけではない。そうした「神戸文化人」との交わりにもまして、間島さんが肩入れもし、その一員として深くコミットしているグループがある。

それは、『古代神戸史研究会』という名の、これまた、夜更けにひっそりと花開く月見草みたいなサークルで、間島組二代目は、その不定期機関誌『神戸古代史』の、胴元ならぬ版元なのである。

「富士には月見草が似合う」などと、キザなことを書いた太宰治も、明石海峡の『斜陽』に目覚める月見草のことは、知らなかった。「かたつむり角振り分けよ 須磨明石」と詠んだ芭蕉なら知ってたかもしれないが、雪深い津軽の人・太宰が明石の海を知ってたら、ひょっとして、『人間失格』しなくてすんだかもしれない。まあ、あたま・デッカチのホモ・サピエンスなんて、生れながらにして失格・斜陽の四苦八苦を約束されているのではあるが……。



古本に囲まれると学問の香りがいっぱい

だいたい、「クリスタル・シティ」たることだけ売り物にしてみたいな、コーベ市民は、カビくさくババチ「古本」なんて、ありがたがらない。地名・店名をカタカナにさえすれば「ブシカ」って思ってるフシもあるのではニヤイカ？

もっとも「歴史」の驕りと淀みにいささか欠けるコーベといえども、戦前は、もう少しマシだった。湊川温泉あたりには古本屋さんが軒を並べてたし、いわば「在野」の書誌学会みたいなブンカ人・サークル『陳書会』もあった。間島書店の先代が、神戸のはずれみたいな須磨に、店を開いたのも、古く良き書を、せめてツンドクなりともしてた別荘族が居たからだった。端倪すべからざる爛眼である。

偶然も、あるにはあった。若き竹中郁氏や福原清氏が近くに住んでたからでもある。先代は、この二人と「飲みないトリオ」を組んで、共同経営の書店を開いた。

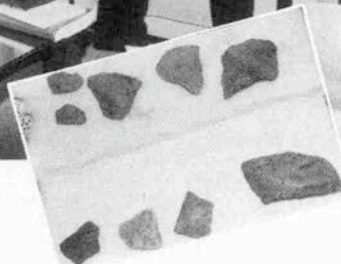
で、間島書店の二代目は、「山口組」三代目はちがって、代紋バッジがなくても、神戸文化人

つい脱線してしまったが、ともかく、「神戸」の「古代」に熱中するという、一見したところムジユンするみたいなテーマに熱中する研究会は、ネアカのナガシマくんみたいに結構な身分の考古学アカ(ん)デミズムに対する、自称「ネクラ・月見草」のノムさんに比すべき、無名有実の、ゲバゲバ世代OBを、「中核」としている。昼間は世を忍ぶ仮りの身、夜を待って花開く、「屈折」ニンゲンの集いである。

憂き世のゼニ稼ぎと、ガクモンは、両立しがた



古代史研究会のメンバーが熱っぽく語る



いから、月にたった一度、生計を忘れて「考」古の「学」を、純粹に楽しみ、アカんでミズムに矢を放ち、「世直し」への志を、辛うじて支えんとする。絶命館ダイガクでサンパ・ミンセイに両面パンチを浴び、おかげで、半ば死に半ばは蘇えったみたいなアタシは、なんとなく共感しながら、いや、そんな資格はない……などと、心中ひそかに咬く。それに、アタシは、軽薄かつしが、ない「考現学」徒として、舌先三寸・筆先二寸でナリワイを立ててるにすぎない。おテントーさまが照る道を、大手を振って歩ける身分じゃない。

だが、この研究会の中心メンバー||真野修・渡辺伸行・北山淳の諸氏は叛逆の志捨てがたく、ガクモンの「社会的使命」にこだわりつけ、神戸市のみならず全国の「開発行政」を、こもこも糾弾し、遺跡と踏査をないがしろにする考古学界や郷土史家を、指弾してやまない。たとえば、加古川市・聖陵山古墳や大歳山遺跡の研究をめぐっても、そういう姿勢を、この人たちは、崩さない。万葉の古歌「ありそこす なみをかしこみ あはじしま ここだちかきを みずやすきなむ」が、「一の谷」あたりで詠まれたとする通説をくつがえすべく、間島さんも、近く、「山陽道」研究の成果を『古代神戸史』誌上で世に問うはずである。

★間島一雄書店

神戸店 / ☎078・732-6571

神戸市須磨区行幸町3-8-20

梅田店 / ☎06・373-0116

大阪市北区芝田1-6-2 阪急古書のまち



●第10回神戸女流文学賞受賞作

《第4回》

オレンジ色の闇

舟木かな子

絵

岩島雅彦

この人は、なぜ自分なんかとつきあうのだろう。退屈しないだろうか。盛りを過ぎようとしている中年女を慰んでいるのだろうか。一分でも一秒でも永く向き合って坐っていたい、その視線が自分の上にだけ留まっていた欲しい。そう思うと島子はますます息苦しい。

男が洩をかむ。洋介は年中鼻風邪をひいているような声だ。島子にはそれがたまらなく甘い声に聴こえてしまう。そういえば二人のきっかけはアレルギー性鼻炎から始まった。彼のタウン誌が掲載した記事の事を詳しく知りたくて島子は他のリーダーと雑誌社を訪れた。脱サラ青年がK市の近郊で障害者たちと有機農業を始めた記事だった。軌道にのれば将来、支援活動のために農作物を引き取ってもいいという計画であった。旧式ビルの一角の狭苦しい編集局だった。椅子も満足にひけないほど机

やロッカー、コピー機が立て混み、ポスター類、雑誌、新聞が積み上げられている。インキの匂いや埃の舞い立つ片隅のソファで主婦たちと洋介の雑談になり、アレルギーの話になった。

それから月に一、二回、洋介の余白の時間に逢って映画や美術展に行っている。

島子は洩をかんでいる男のギターリストのような長い指や、頬の凹み、白い歯ならびなどを飽きず眺める。刻みつけても刻みつけても、端から蒸発してしまいうような気がする。

「ね、聴いてくれる？ とても厭なことなんだけど。男の人がどう思っているのか聴きたいの」

信用金庫に勤める島子の夫の仕事内容が変わった。いま夫は、向かいの中川貴士が工場長を勤める大造船の製

鉄工場へ口座開始と預金獲得のため日参していた。支店長代理の夫は貸付担当から得意先係責任者へ担当替えになったのだ。大造船は都市銀行トップのS行と同じ財閥系列だったから主力は無理としても、工場の経理部レベルの預金や貸付、或いは従業員口座、退職者の年金振込指定などを狙っていた。

十日ほど前の夜、夫は有名な洋菓子店の箱を下げて帰り、島子にお向かいを訪問するからついて行けと言った。夫人の自分への侮辱や愛猫のことは夫に話していないから今になって話せない。深いつきあいはないし、あんな変わり者夫婦の家に頭を下げるのは厭だと断わった。夫は顔を引きつらせ、背広の上着を床に叩きつけた。温厚で妻に声を荒げたこともない夫がそんな態度に出るのは初めてだった。険悪な顔のままネクタイもとらずに長椅子に軀を投げだした夫をみて、島子は折れた。

出張の多い中川が今夜は在宅のはずだ、と言った夫の言葉通り夫妻はいた。

今しがた出張から戻って来たばかりなので、ここで失礼する、と中川は言い、風呂上がりの麻の甚兵衛姿で上がり框に立ち、あがれとも言わない。夫人とは対照的な顔も軀も肉厚な大男。

夫は腰を四十五度に折り曲げ、得意先担当になったことを述べ、工場の経理部長に口添えしてほしい旨を何度も依頼した。経理は一切一任、私と無関係と皮肉な見下す目つきで拒んでいた中川も、夫と島子を見較べながら少しづつ顔を軟化させていった。ご近所の好誼に頼られちゃかないませんなあ、しかし今の時間まで仕事ですか、お宅らも大変ですなあ。

横柄な態度と言葉で優位を示す中川を、灰色熊め、と島子はひそかに睨む。目線の先に仁王立ちの裸の足首があり、甲にも踝にも濃い毛が密生している。ぎりぎり踏んづけてやりたかった。夫人は涼し気な空色の揚柳ワンピースを着て、こんな所で失礼ですが、どうぞお当て下さいと夏座布団を奨めた。その顔は勿論、酒の気のない

陶器のような白い顔で髪もひつつめている。相変わらず薄茶のガラス玉の眸は内面を映し出さない。夫の在宅を喜ぶふうでもなく突然の訪問者を毛嫌いするふうでもない。島子をみたとき親しげな笑顔がほんの少しとどまっただがすぐ消えた。愛想なのか義理なのか、突つた夫の傍らの板間に坐り、観音竹の鉢植えを触っている。この家の玄関は廊下の奥から風が通ってきているのに何やらカビ臭い。

鉄鋼業界の慢性不況が話題になっているのを、ぼんやり聴いていると急に男二人が低く笑い、お宅の奥さんも大したもんですと言う中川の声が入った。

消費者運動なんていや、男にとっちゃ、お杓文字おつ立てて徒党を組む、おっかないオバサン、というイメージですがなあ。

いやあ、閑潰しですよ、これの。ま、子供も大きいですし、女も何か打ち込むものを持たさんと、ストレスためて反逆しよりますからな。まあ心身症の予防くらいに考えとります。

しかし近頃の奥さん方はなかなか行動的でカゲキですわ。カルチャークラブだの、浮気だの、旅行だのと、いろいろエネルギー発散法を工夫しよります。それに較べたら共同購入運動は実害がのうてよろしい。家族も恩恵こうむる訳ですしな。しかし、ちよつと、かなわんなあという気もしますけどどうです。

そりやもう、小うるさい事です。あれはいかん、これは危険、季節の野菜を食べろ云々。純粹培養のモルモットじゃあるまいし。

ハッハハハ、ご亭主も大変だ。

うちは息子の軀の心配がありましたから、これの気持ちは解らんでもないんですが程度問題ですよ。ご子息はやはり東京で医学を。

まだインタン、今は研修医っていうんですか。もうこつちへは戻らんでしょうな。

中川さんもこちらへ転動になって良かったですね。

ご自分のお家へ戻られて。

「おふくろが死んだあと、うまい具合に転動になりました。永い間、年寄り一人に委せておいたらもうとことんボロボロ、崩壊寸前。

「そんな事はありません。立派なものです。今どき貴重な、保存すべき建築物ですよ。

「まだ異人館ブームが続いとるんですか。単に大正中期に建てただけで異人さんとは何の関係もない。たまたに観光客みたいなのが覗き込んだりするとこっちが吃驚しますわ。

「市がPRしている異人館と似ていますからね。でもこの広さじゃ手入れも大変だし、奥様おひとりの時はお淋しい事でしょう。うちの奴で役に立つ事があつたらいつでも使ってやって下さい。どうせ遊んでるんです。

男同士、何を勝手な事ほざく。女は傍らの鉢植えか。島子の喉は膨れ上がり、今にも舌の根から腕が伸び、私たちの胸倉を襲いそうな気になる。こんなに女のジンケンが無視されていてあなたは平気？と夫人を睨みつける。黄色い斑入りの観音竹のすべすべした葉面を夫人の指が目といっしょに無感動に往き来する。

この人の頭は、いったい何が詰まっている。  
「出張が多いものだから、家内が一日をどう過ごしているかと気になる時もありますよ。浮田さんの奥さん、よろしく頼みます。

いえ、こちらの方こそ。島子は初めて声を出した。苛ら立ちが声帯を焦がしてでもいたのか変な声だった。仕事の件は折をみて経理課長に言っときましょう、と態よく打ち切った中川に、夫は執拗に追いつがり中川同席の紹介をくり返し頼み込んでいた。

「成功したの、コネは」  
「そうみたい。中川さんの口利きで主要取引銀行のほんの片隅に喰い込めたそうよ。下請け業者にも紹介して貰えるかもしれないって主人は張り切っていた。でも、もう真っ平。あんな尊大な男へペコペコ米搗バッタみたい

に頭下げて、こっちまで卑屈にさせられて」

「それが言いたかったわけか。さっき俺の意見を訊きたいって言ってたねえ。俺に言わせりゃ、あなたの言い分こそ、バチ当たりな、浅墓な子宮の感覚、と思うぜ」

「……失礼ねえ」

「そう、失礼を承知だよ。俺は猛然とあなたのご亭主の味方になるね。男はみな米搗きバッタをやらなきゃ食っていけない。女房子供を養えない。男の仕事は時に、ブライドを売り魂まで自分の手で殺す。それもポリシーさ。女は組織の中の男の苦勞をまるで解つちやいない。俺だってさ、零細企業にも入らないチツボケな社のため、どぶ鼠の生き方してるんだ。人ごとじゃなく切なく腹立たしい」

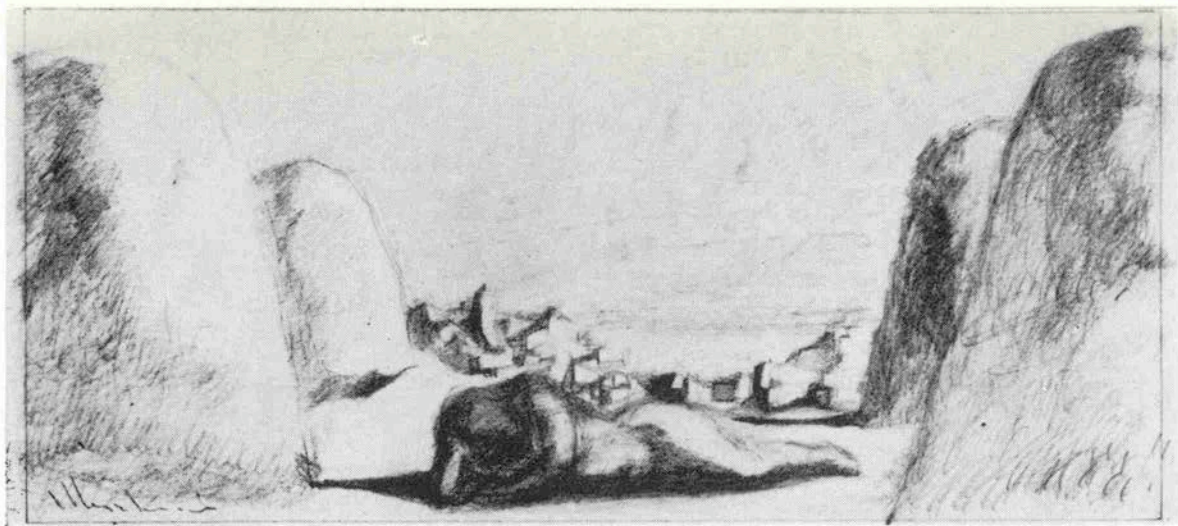
突然、饒舌になった男に島子は啞然とする。蒼白い額に血管が透け、目が暗く据わった。

「あなたの運動とやらも大した事ないんだ。自分の立場の矛盾に気づいていないのかい。中川さんの会社は大造船の製鉄部門だろ。あそこは中近東諸国や東南アジアの受注で銃器戦車、装甲車を作ってる。軍備拡張の発展途上国は大むねその国の地場産業や農業を犠牲にしてるんだ。お宅の預金は親銀行を通じて国内の大企業へ流れ、軍需産業、公害企業の後押しをし、国外の軍拡にも参画し、経済侵略の一端で訳だ。その禄を喰む者が公害反対を唱えるのは矛盾じゃないのかい？そこをすっぽかして、亭主の態度がどうの、男社会がどうのなんてお笑い草だ。世間しらすさ」

島子は、膝のハンカチを握りしめた。

男の指が苛ら立たしげにテーブルを打ち、怒りの滲む目はソツポを向く。この人はなぜ、こんなに怒る。なぜ私を詰問する。こんな話をする女は嫌いなんだ。そう、私だって厭。ほかの話がしたいの、島子は首を振った。  
「……なにか言い分のありそうな顔だね」

言い分はいま言いたくなかった。が、また何かの力が島子自身の背を押し出してしまった。



「立場の矛盾で言えば、道を歩けば無意識に虫や草の命を殺してしまうのが人間だし、車に乗れば誰かの喘息の発作を起こさせたかもわからない。台所の水は即、海や川の汚染源だし、プラスチックは危険物を吐き出すし。文明を生きる事自体、矛盾だらけよ」

「そうさ。矛盾だらけだ。四十億の人間がひとりひとり資源を食い潰し地球の条件を悪化させている。加害者であり被害者なのさ。その自明の理を踏まえた上で、どこに視点を置くか、複雑怪奇にからまった矛盾をどうほぐすか、今世界中が模索している。ただ俺の嫌いなのは、教条主義のタテマエや、男だ女だと一方の側だけの論理を振りかざすヤツさ。あんたがまるきりそうだって言いたかないけどね」

洋介はわざとらしい吐息をついて、背を引いた。島子はやり込められた想いにひしがれる。が、そんな顔はしたくない。天井を見てふと気づいたふうに呟く。ここの冷房ちょっと利き過ぎよね。見回す島子の視線の先で、男の目はあわれむように苦笑する。

「フフフ、ま、あんたは歯止めの運動をしなさいよ。何もしないより良いさ。俺も正義はやるべしと思う反面、胡散臭く眺めている自分も一方にいるんだ。住民運動や革新政党の政治家、翔んでる女の解放論。正論であるほどひんやり風が通りぬける。たかが人間のやれる歯止めだの解放だのってしたもんだ、それをテレも迷いもなく月光仮面ヅラしやがって、未来のどこに希望があるんだよオと陰であざわらう。正面切ってそれは言えない。最末端マスコミ人間として言うならば、社会の公器はやはり正義を通すべきだ。例えばあんたの会を紹介する時は俺だって精一杯提灯掲げて、この町にこんな素晴らしい運動が、主婦たちが、なあってね」

男の頬に自嘲の笑いが刻まれるが黒い孔のような目は笑わない。あ、私はこういうところが好きなんだと島子は思う。キザっぽく装うかと思うと、ひどくシニカルな横顔をみせ島子の心を誘うのだ。



「ところで話は変わるけど、さっきの中川夫人ね、俺、そういう雰囲気女って、興味あるんだよなあ」

一瞬、テーブルに白いもやがかかった。白濁した流動体のような障壁が男の姿を隠した。島子は狼狽てた。自分を喋らせる背の力のせいだ。宇宙人のようなあの女のせいだ。

隣席に誰もいなくなっていた。洋介が喋っている間に、女子学生は男の軀にぶらさがるように姿態で起って行った。島子の五感に青春の持つ傍若無人の哄笑と匂いを残して。

「興味って、どんな。女？ 人間？」

「両方かな、大した事じゃないさ、ちよつと気分を変えるために言ってみただけさ」

島子は正面の絵をみた。

「希み」の女の背後にも、オレンジ色の闇がある気がした。洋介の背にも等身大の影が貼りついているのではないだろうか。そうに違いないと思う。がすぐ打ち消す。男の背後はストレートな人の形ではないだろう。海底の岩の上で自由奔放に管足を動かすヒトデのような生物が数限りなく。「希み」を追う女の横顔は暗く次第に皺だらけの老婆に変貌する。

私はこの男と寝たい、そう、寝たい。唐突にわけもなく嘔きこぼれた感情が島子を呆然とさせていた。

ブッチの遠吠えがつづく。ネジの切れかけたオルゴールのように気怠く哀しげに余韻を引きずる。

正面の山なみから小さな棘の塊のような風が振りおちて、坂道を転がって行く。舗道にばらまかれた落葉が身を採みながら側溝ぎわへと走り寄る。爪先あがりの坂道を昇る島子の歩数に比例して、ブッチの声の追跡は街の騒音へ溶けていった。島子が出かけると、置いてけぼりされたブッチの怨み節は、長々と小一時間続くらしい。何とかしてから出かけるノと耕太は癪癪を起こす。殊のほか犬に執着されるのは、餌を与える側だから、単に家

族だと思われているから、と島子は苦笑する。

山際にある水島浩子の家につき、ソファに坐つて崖下の街を眺める。犬も息子も同じ。ハウスキーパーが必要なだけだ、と呟く。

「坊ちゃんの具合、どうですか」

余分な装飾の一切無い広々とした応接間である。紅茶を運んできた水島浩子は、氣遣わし気に眉を寄せ耕太の病気を訊ねる。

「お蔭様で、大分良いみたいなの」

「大変ですねえ。浮田さんも。坊ちゃんのこと次々と心配が重なりますねえ」

「踏んだり蹴ったりよねえ」

「仕方ないですよねえ、親が幾ら注意してもし切れませんよね。不節制する年頃やから」

「氣儘に家でころころしてて、何で病気がしら、しかも全滅したと思つてた結核なんかね、食品公害追放やつてて、栄養失調じゃ、まるでマンガね、カッコの悪い話よ」

「偶然ですよ、予備校か喫茶店で、たまたま強烈な菌に一時とりつかれただけです」

「いいえ、私もね、万事口先だけの人間やから、何でも中途半端なのよ。この度は全く自信なくしたわ……ところでお宅の三人のお子さんは、お元気？」

「ええ、ええ。うちは丈夫と素直だけが取り得です。親に似て頭はバアですけどね」

今の島子には、丈夫も素直も皮肉な言葉だ。

坂道を昇りつめたこの辺りは、海と山に挟まれて横に寝るしかないK市の市街地を一望する位置だ。空へはひよいと手が届きそうだし、海は庭先の水溜りみたいだ。今日は一日中曇り日。境界の曖昧な空と海は灰色の川床。

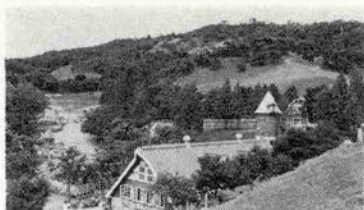


神戸まつりの花「神戸っ子サンパチーム」

★月刊神戸っ子サンパチーム  
サンパ教室生徒募集  
一、年令は中学生以上  
一、入会金/5,000円  
一、(レッスン料)/3,000円  
(一カ月)  
一、場所/21C(三宮、中央区役所北隣り) #サンパル(7F)  
一、とき/隔週火曜日午後7:00  
一、ダンスingチーム指導  
小泉美喜子/安田美佐枝/八島房子・パーカッション指導  
ミカエル・川上  
■お申し込み  
21Cカルチャーセンター

★29110210 家沢  
月刊神戸っ子編集室  
33112246 小泉美喜子  
★神戸まつり「月刊神戸っ子サンパチーム」パレード出場者募集とサンパ教室の開校  
今年も第十六回の「神戸まつり」が、五月十六日(前後祭)十七日(各区域のまつり)十八日(中央パレード)と開催されます。今年から、パレードのテーマは「花と決まり、サンパも、パレードだけでよく京町筋が、サンパ広場に設定されました。  
「月刊神戸っ子サンパチーム」で

は、十七日の中央区のふれあいカーニバルのパレード(淡川神社、元町・センター街・大丸前)と、大丸前ひろはのカーニバルへの参加また十八日の国際パレード(大丸前から元町6丁目)と中央パレード(ワラワラ町)から大丸前)その後、京町筋のサンパ広場のコースで出場します。明るい五月の空の下でサンパを踊りませんか。参加費 ¥3,000  
★パレードのための無料公開レッスン(参加費衣装代別)  
五月一、七、九、十一、十四日  
★お申し込み先/月刊神戸っ子  
33112246 小泉正己



六甲山牧場、陽ざしの中で...

★早春の風がさわやかでございませう。神戸っ子3月号ありがとうございました。プルメール賞、若々しい人々が選ばれすばらしいことと存じます。「十五年の雑感」がそれぞれの人生の歩みの重みを感じます。詩画集四季の「春の木」とっても美しい思考の動きの中に人生を感じます。  
季節柄、くぐれも御自愛下さいませ。宝塚市八丸本明子  
★私の実家では、私が子供のころから毎月「神戸っ子」を読ませていただいております。昔はファッショナブルな雑誌が少なく、その

中で「神戸っ子」は、とてもきれいだっという記憶があります。両親は今でもずっと「神戸っ子」を愛読しております。今後のますますのご発展をお祈りいたします。  
EVA AMATA  
★文通希望  
今年17歳、20歳になる人、文通しましょう。60円切手同封でお手紙下さい。楽しみに待っています。  
〒770徳島市末広3-4-33 三木靖子  
★何よりも詩が大好きという私連です。同人誌「雲と麦」を毎月発行。初心者募集中。

〒133東京都江戸川区西小岩3-1-33  
—20 工藤一麦 303-1-6  
58-0503  
★詩の同人会「中央文芸」です。詩を中心にイラスト、随筆、俳句、短歌などの同人の作品やお便りをもとにして同人誌を発行しています。詩の好きな方、初めての方、ぜひ仲間入り下さい。  
尚、当同人会の会員数約50名、入会金300円、月会費600円  
ご連絡の方に同人誌と案内プリントをお送りします。  
〒339埼玉県岩槻市諏訪3-1-5  
—306 鈴木新平(会社員)



白い豪華客船、コーラルプリンセス号

★中国大陸にふれ、学び、遊ぶラジオ関西 中国友好船の旅  
白い豪華客船「コーラルプリンセス号」で行く、中国(天津・北京)友好船の旅。歌手の芹洋子さんや、ラジオ関西西日友好番組レギュラー講師として活躍中の待場裕子さんも参加します。  
ラジオ関西(日曜午前8時30分放送)と天津放送局第4土曜放送「神戸からこんにちは、天津からこんにちは」放送5周年を記念した天津市友好交歓会にあなたも参加してみませんか。コーラルプリンセス号にても楽しいイベントが

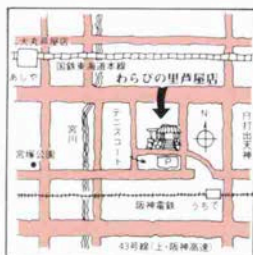
いっぱいあります。VIP気分でのびのびの旅をしてみませんか?  
募集期間 6月16日~25日(10日間) V  
募集人員 350名  
参加費用 148,000円より  
(全行程食付、ラジオ関西スタッフ添乗員同行)  
西スタツ添乗員同行  
行程 ゆき・かえり共コーラルプリンセス号で。16日神戸港  
19日天津新港。19、20、21日天津。21、22日北京。  
22日天津新港。25日神戸港  
申し込み・問い合わせ/東急観光神戸営業所(日本生命三宮ビル1F) 3078(331) 74661

★孫文と魯迅の旅  
移情閣(孫中山記念館)友の会では、中国旅行を計画しました。  
日時 7月8日~14日(8日間)  
日時は、7月(万里の長城、明一三陵、頤和園、孫文記念館、宋慶齡基金児童公園、北京大學、魯迅故居、故宮博物院) 上海(孫文故居、魯迅記念館その他) 蘇州(寒山寺その他)  
費用 往復航空運賃12万円  
現地滞在費約12万円  
問い合わせ・申し込み/移情閣友の会 3078(783) 7172



# 春

の息吹きを味わう



京懐石 5,000円より  
松花堂 3,500円(午後2時迄)

## ■ 芦屋店

京料理  
わらびの里

芦屋 打出小樋町30

TEL (0797) 23・5666

営業時間 午前11時～午後10時(駐車場有り)

京都本店 京都・山科区小山中島町28

TEL (075) 591・0911

新宿店 東京・新宿区西新宿2の4の1

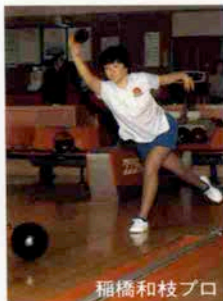
新宿NSビル1F

TEL (03) 349・8789

# 4.20 SUN 第10回神戸プロアマボウリングフェスティバル

## 4.21 MON 第6回六甲クィーンズオープントーナメント

- 開始時間 両日とも午前9時30分
- 4月21日は、女子プロボウラーと前日の大会での女子アマチュア上位16名の夢の対決です。
- 両日ともに観戦無料です。ぜひ、ご来場ご観戦ください。



稲橋和枝プロ



金田恵子プロ

# 激突



第3回・第5回六甲クィーンズオープントーナメント 優勝の永井雅代プロ



優勝者永井プロと笑顔の小泉社長

# 勝利

国鉄六甲道駅南へ3分  
 国道2号線沿  
 灘区友田町5-2-3  
 ☎078(841)3151(代)  
 駐車場完備(180台収容)



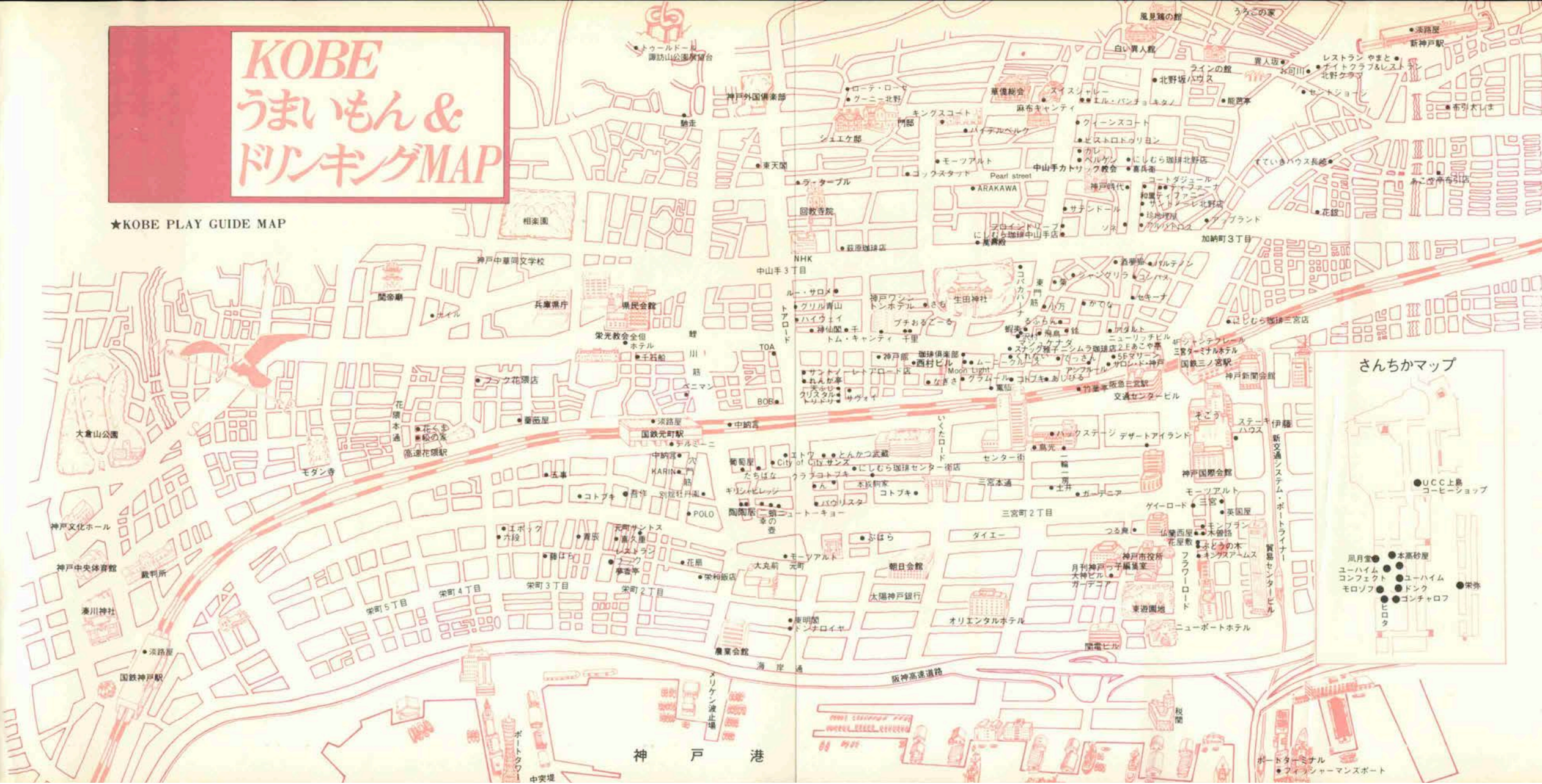
# Grand Rokko



# KOBE

## うまいもん & ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP



### さんちかマップ

UCC上島  
コーヒョショップ

風月堂 ● 本高砂屋  
 ニューハイム ● ユーハイム  
 コンフェクト ● ドンク  
 モロゾフ ● ゴンチャロフ  
 ヒロタ

伊藤 ● ステーキハウス  
 新交通システム・ポットホテル  
 伊藤 ● モーツァルト  
 三宮 ● 英国屋  
 ● モンブラン  
 花屋敷 ● 花のまち  
 ● キングスアームズ  
 フラワーロード  
 ニューポートホテル



# 美味一品



④

おすすめの一品 ロウ ソン チャウ サン シン  
**露筍炒三鮮**

(アスパラガスと魚介類の炒めもの)



司馬君恵さん (医学博士司馬良一氏夫人)

高校生の息子さんが3人もいるとはとても思えないほど若々しい司馬さんは、神戸の華僑でも中心的存在、陳徳仁氏の長女で生粋の神戸っ子。「この奥さんには幼い頃から娘のように可愛いがっていたり、今も毎週お店へ伺ってはお料理を教えてもらったり、おしゃべりしています」それほどお料理には熱心で手作りの味を大切にしている。今日は春らしい鮮やかな彩の一品と香ばしい焼鴨にフカヒレのスープを添えて…。

当店は本店も支店もございません！

広東料理  
**神戸元町別館牡丹園**

元町通1丁目協和銀行北側小路西へ入る  
 ☎331-5790・661111AM~8:30PM 第2,3水曜休(但し,12月は無休)





● 手づくりの心をつたえる  
**Casade**  
 さんプラザ店 ☎331・9738  
 三宮イトシヨッピンングには欠かせないカスカードさんプラザ店。豊富な品揃えが自慢です。



● オーダーメイド・紳士服  
**アダムG** (岡田巖)  
 神戸国際会館3F ☎231・3575  
 ランパン、ジバンシー、スキャバルなどの春・初夏物生地が揃いました。  
 TAILOR  
**ADAM G**



● ミックスダブルス  
**ディマジオハラダ**  
 三宮センター街 ☎331・8667  
 '86春夏ディマジオファッションを、ハラダよりお届けします。オンラインショップならではのバリエーションです。



● プティック  
**サンジエル**  
 センター街2丁目 ☎331・4358  
 マックデイベッド、ブルーエスエル、アクアスキューダムなどお馴染みのブランドが、初夏の香りをお届けします。

● 祝「月刊神戸っ子」創刊300記念号

# ハイカラ神戸の伝統が KOBESHOPPINGゾーンへ春風と共に



● アクセサリー  
トアロード ☎ 331-5393  
サンプラザ3F ☎ 391-3847  
センタープラザ1F ☎ 331-4836  
さんかレデース ☎ 321-0150  
☎ 321-0150

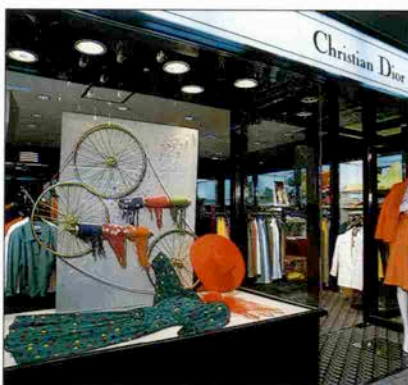
芸夢  
'86 スプリング&サマー アクセサリーの  
数々が、お好みに合わせて、シャレた  
ファッションアクセントを。



● ベっ甲  
太田べっ甲  
元町一番街山側 ☎ 331-6195  
珊瑚、貝パールとべっ甲の組み合わせが粋な、ブローチとイヤリング。ブローチはペンダントにも利用できます。



● 洋品、文具、内外書籍、メガネ  
神戸丸善  
中央区元町一番街 ☎ 391-6001  
英国のバーバリー、洋品、丸善の文具、メガネでお洒落と楽しさを。内外の書籍、雑誌で最新の情報を。



● CDフランチャイズショップ  
クリスマスチャンディオール  
元町通3丁目バローレB1F ☎ 391-0464  
'86春のテーマは、SMART CHICセクシード、シックなコレクションをお楽しみ下さい。

月刊神戸っ子300号記念

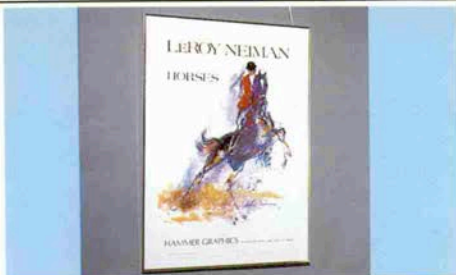
# SRPING SHOPPING IN TOR-ROAD

## 末積製額

トアロード・大丸前

☎331-1309

ポスター芸術を楽しむアート感覚が人気上昇中。シルクスクリーンやリトグラフなどお好みのアートで、クリエイティブな生活空間を。



## 東栄商行

中央区下山手通3-1-21

☎332-3861

中国物産・雑貨ならなんでも揃います。絹のブラウスやテーブルクロスなど直輸入だから、卸し値で買えてとってもお買得!



## トーエイ

中央区下山手通2-5-6

☎321-0961

中国品輸入元、東栄商行の直売店です。天津甘栗や香辛料などあらゆる食料品、家具などが揃っています。中国物産ならトーエイで。



## 高木スタジオ KOBÉ

三宮センター街西角

☎331-7997

誘われてDANCING!  
ジャズダンス・ステージジャズダンス・エアロビクスでさわやかな汗を流しませんか。お気軽にご見学を。



トアロードはその昔、現在の外国倶楽部の位置に外国人にも親しまれたトアホテルがあったことから、この名がつけられたという。



山手の住宅から浜側の旧居留地のオフィスへ通う外国人たちの通勤路でもあった。  
今はショッピングを兼ねるアダルトな散歩道。



## COL FASHION PLACE

中央区北長狭通 3 - 12 - 14

☎331-2020

大人の気品と感性あふれる  
ウィンドウ。トアロードのフ  
ァッションプレイス「コルウ」  
も5周年を迎えました、春  
・夏物も到着しております。  
お立寄ください。



祝・

春の神戸へ……



## フレンチエ・O-MURA

中央区三宮町 3 - 6 - 10

☎331-4726〈センター街西店〉

「ヘルシー&リッチ」を基  
本に、白木、白壁の明るい  
店内。Jbパンプキン、ト  
マツ、H・Lなどを中心に扱  
ったブティック。



## INNER HOUSE *juin* ジュアン

中央区三宮町 3 - 4 - 15

☎ 331-7991

パジャマ、ランジェリーな  
どインナーウェアが中心。  
ヴィヴィッド感覚あふれる  
品を集めたお店で、貴女  
のお気に入りを見つけては？

古くから、センスのよい  
ブティックやレストラン  
が並び、長いフランスパ  
ンを抱えて歩くのがよく  
似合う。



## ローズガーデン

北野異人館通り

☎222-1140

小粋で洒落たショップが19  
店。レンガ造りのファッ  
ションビルは、常に神戸・北  
野発のファッション情報  
をおとどけています。



# 中納言コレクション

味は見るよりも、聞くよりも、食べるもの。

一度中納言の白いテーブルクロスの前にまわって

中納言・味のコレクションをご賞味ください。



活伊勢海老料理



# 中納言

神戸プラザホテル店 ☎ (078) 331-7918	国鉄元町駅東口南正面 神戸プラザホテル2F
神戸元町東店 ☎ (078) 392-1685	国鉄元町駅東口を三宮方面へ 歩いて30m 徒歩下
大阪心斎橋店 ☎ (06) 244-9866~7	北区船場4-5-8 第2心斎橋ビル1F 2F
大阪駅前第3ビル店 ☎ (06) 341-5460	北区梅田1-3-3200 駅前第3ビル30F
大阪駅前第4ビル店 ☎ (06) 344-8685	北区梅田1-1-4 駅前第4ビル81F
東京銀座店 ☎ (03) 571-7121	東京都中央区銀座5-9-16 銀座コアビル11F(あずま通り)
東京赤坂店 ☎ (03) 582-8588	東京都港区赤坂4丁目2-61(アツ木通り)

創業23周年記念  
トム・キャンティ  
チャリティ **5th** ナイト

レ・モン・色・の・風・を・あ・な・た・に・ノ



トム・キャンティからのラブ・メッセージ



さわやかな風が吹く美しいシーズンを迎えました。トム・キャンティも皆さまに可愛いがられて早や5年。いつもさわやかでフレッシュなレモンのように願ってチャリティ5thナイトを催します。何とぞご参加下さいまして楽しい夜をお過ごし下さいませ。

Restaurant Bar  
**Tom Chianti**

トム・キャンティ  
榎 晴夫

神戸市中央区下山手通2丁目11-5 TEL (078) 331-2122  
神戸ワシントンホテル1F

営業時間：PM5:00～AM2:00(年中無休)

前売チケット発売中

とき  
**1986年4月23日(水)**

PM6:00～AM1:00

ところ  
ワシントンホテル1F・トム・キャンティ

プログラム

★パフォーマンスNo.1 PM6:00～  
おなじみ サントリー 出前寄席(ラジオ大阪)

シャンソン

マジック  
福岡康年



堀 郁子

くつわ ともこ

演奏(トリオ)  
中田美郎 ピアノ  
西野邦夫 ドラム  
勝浦敏夫 ベース

★パフォーマンスNo.2 PM8:00～  
ジャズ(スタンダード)



麻鳥千穂 滝えり子 森哲也

マジック  
浅田吉彦

★パフォーマンスNo.3 PM9:00～  
ジャズ&シャンソン



湯井一葉 上平田 裕子 望月美佐 小曾根 実

★真夜中のパフォーマンスPM11:00  
シャンソン&カンツォーネ



近衛 真理 松本 幸三 田淵 幸三 矢野 正文

●会費●¥3,000(フリードリンク付出しつき)  
但し各パフォーマンス毎の料金です。  
通し券もあります。



昼間はテラスのある喫茶室としてOPEN。ランチタイムには特製手作りカレー（サラダ付¥600）をご賞味下さい。



PRIVATE SALOON  
**Coted'Azur**  
コートダジュール

中央区中山手通1-22-113ヒルサイドテラス4F ☎222-7222  
11AM～5PM（ランチタイム2PMまで）5PM～会員制



お昼のランチから贅を凝らした本場の中国料理まで、お手頃なお値段で味わえます。歓迎迎会にも御利用下さい。

中国料理

**葵和飯店**

神戸・元町南京街 TEL (078) 392-1982  
11:00AM～8:30PM 火曜定休



「落ち着いた静かな雰囲気、お酒を楽しめる」と語る堀歌寿子さん(左)と藤和律子さんは中学からの同級生。

JAZZ & WHISKY HOUSE  
**SATINDOLL**

中央区中山手通1 富士産業ビル1F  
☎242-0100 無休



京仙シェフのおすすめ料理 春巻き  
他の店では食べられない京仙特製の春巻きをぜひご賞味下さい。本格的中華料理コースはお一人様2,500円でOK。

中華料理

**京仙**

神仙閣姉妹店 中央区栄町通1-5-5 南京街 ☎391-5511  
予約は3名様より、おちつける個室をご用意致します。火曜定休

TASTE OF KORE

移 転  
オープン記念展

●ギャラリーほりかわOPEN

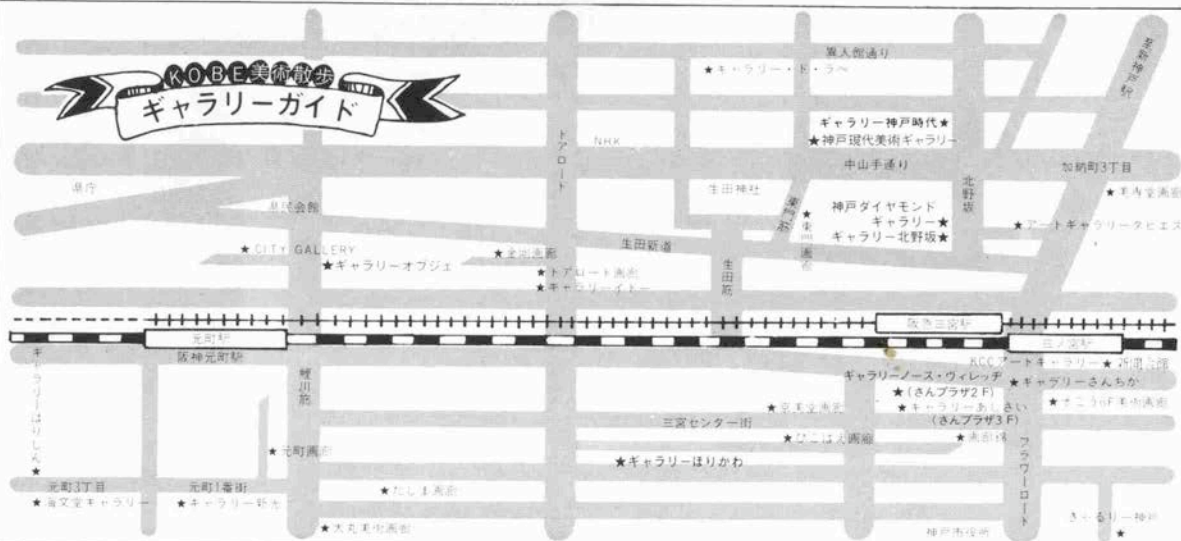
ギャラリーほりかわが、三宮本通り山側に移転し、2月13日にオープン。以前より広くなり正方形に近い形で、大きな作品の展示もできるようになった。

オープン記念展として、“ほりかわ”で今まで個展を開いた27人の作品展と、日本画の菅蒲大悦展が2月13日より約2週間催された。

※4/10～15西村よう展 4/24～29太田正人展



2月13日、オープニングパーティにて



畫廊 蘗 ひしほえ

4/4～6 書道游藝会展  
8～13 中国古陶磁の優品  
古書画展示即売会  
15～20 神戸サンクレパー  
グループ作品展  
(アメリカンフラワー)  
22～27 第3回長三堂作陶展

神戸市中央区三宮町1丁目  
6-3 (パレックス東隣)  
☎ (078) 391-4137 月曜休

海文堂  
ギャラリー

4/7～4/18  
シャガール石版画展

神戸市中央区元町通3-5-10  
☎ (078) 331-6501

ギャラリー  
あじさい

常設展

神戸市中央区三宮町1丁目  
8-1-305 さんプラザ3F  
☎ (078) 331-1639・1067

SALON & GALLERY (北野坂)

神戸時代

常設展

神戸市中央区中山手通1丁目  
23-10 モンシャートコトキ  
ビル1F ☎ (078) 242-3567  
喫茶(昼)土日休・スナック(夜)日曜休

ギャラリー  
ノース・ヴィレッチ

常設展

神戸市中央区三宮町1丁目  
8-1-214 さんプラザ2F  
☎ (078) 331-4478 月曜休